

天龍村 第2期データヘルス計画の振り返り

1 中長期目標・短期目標

(1) 中長期目標

生活習慣病の重症化を予防し、「腎不全」「心疾患」「脳血管疾患」等の医療費の伸びを抑制する。

	H30 年度				R04 年度			
	総医療費	生活習慣病に占める割合	被保険者千人当たり レセプト件数		総医療費	生活習慣病に占める割合	被保険者千人当たり レセプト件数	
			外来	入院			外来	入院
慢性腎不全 (透析あり)	10,575,900	17.0	5.297	1.394	4,689,930	9.9	4.489	0
慢性腎不全 (透析なし)	1,706,660	2.7	1.115	0.558	2,794,420	5.9	5.238	1.122
脳梗塞	913,130	1.5	5.018	0.279	657,410	1.4	12.720	0
脳出血	0	0	0	0	0	0	0	0
狭心症	400,900	0.6	7.248	0	1,621,040	3.4	1.122	0.374
心筋梗塞	0	0	0	0	4,217,490	8.9	0	0.374

出典：KDB システム帳票 疾病医療費分析（生活習慣）（細小分類）

狭心症や心筋梗塞など心疾患の医療費が伸びている。

(2) 短期目標

- ① 40代～50代の受診率を向上させ、適切な情報提供や保健指導を実施することにより、早期から健康に関するセルフケア能力の向上を目指す。
- ② 「腎不全」「心疾患」「脳血管疾患」の共通の危険因子となる、糖代謝異常、高血圧、腎機能低下への対策を優先的に実施し、重症化予防を図る。

対策	目標	指標	H30 年度	R04 年度
特定健診未受診者 対策事業	受診率の向上	・ 特定健診受診率 ・ 40 歳～50 歳代受診率	43.3% 23.1%	33.5% 17.4%
特定保健指導事業	メタボ該当者 及び 予備群の減少	・ 対象者への保健指導の実施率 ・ 対象者の減少率 ・ メタボ該当者・予備群の減少	33.3% 12.5% 27.8%	75.0% 22.2% 27.5%
重症化予防対策 (糖尿病性腎症重 症化予防)	糖尿病性腎症 重症化予防を 図り新規透析 患者数の減少	・ 対象者への保健指導の実施率 ・ 医療機関受診率 ・ 新規透析患者の減少 (千人当たり)	13.89	0
重症化予防対策 (その他)	生活習慣を 改善させ、 重症化予防を 図る	・ 対象者への保健指導の実施率 ・ 医療機関受診率 ・ 受診勧奨対象者の減少(人) 血圧Ⅱ度以上 HbA1c6.5以上 CKD 中高リスク ・ 質問票の改善 1回30分以上運動なし 1日1時間以上運動なし 毎日飲酒	5.9%(6) 10.8%(11) 4.9%(5) 76.7% 52.9% 25.2%	3.3%(2) 13.3%(8) 13.3%(8) 67.2% 31.1% 18.0%

出典:第3期データヘルス計画県雛型 2 健康指標の状況

2 保健事業

特定健診未受診者対策事業

- ・ 特定健康診査の周知・啓発を広報、CATVなどで実施した。
- ・ 健診受診率は平成 30 年度から低下の傾向がみられる。
- ・ 未受診者の状況把握などにより優先するターゲットを絞り、対応していく。
また、40 歳～50 歳代の受診率の向上を目指したが、令和 4 年は 17.4%であり、引き続き若い世代の受診勧奨を強化していく。

特定保健指導事業

- ・ 平成 30 年度と令和 4 年度を比較すると実施率は 33.3%から 75.0%と増加しており、対象者の減少率も 12.5%から 22.2%と増加している。
- ・ メタボ該当者・予備群の減少については、27.8%から 27.5%と横ばいで推移している。
- ・ 保健指導対象者には状態に応じた保健指導を実施しメタボ該当者及び予備群の減少を目指す。

重症化予防対策（糖尿病性腎症重症化予防）

- ・ 平成〇年からプログラムに基づき未受診者の受診勧奨や保健指導を実施してきた。
対象者への保健指導の実施の割合（ ）
受診勧奨対象者の医療機関受診率（ ）
- ・ 令和 4 年度の新規透析患者は 0 となっている。
- ・ 医療機関と連携しながら未受診者や中断者に対して保健指導を実施し重症化予防を図る。

重症化予防対策（その他）

- ・ 対象者への保健指導の実施の割合（ ）
- ・ 受診勧奨対象者の医療機関受診率（ ）
- ・ 平成 30 年度と令和 4 年度を比較すると、受診勧奨対象者については、血圧Ⅱ度以上は減少したが、HbA1c6.5 以上、CKD 中高リスクは増加している。
- ・ 生活習慣を見ると、1 回 30 分以上運動なし、1 日 1 時間以上運動なしの割合が減少しているが、1 回 30 分以上運動なしの人が 67.2%と高く運動習慣の定着が必要である。
- ・ 毎日飲酒の割合は、令和 4 年度は 18.0%と減少している。
- ・ 糖代謝異常、高血圧、腎機能低下など保健指導対象者には状態に応じた保健指導を実施し、「腎不全」「心疾患」「脳血管疾患」などの重症化予防を図る。